

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			ゆうゆう館(旧敬老会館)改築・改修				整理番号	193	枝番号						
担当部課名			保健福祉部高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	2243	昨年度整理番号	199	昨年度枝番号				
係名						管理係計画推進担当		上位施策名		No					
予算事業名						ゆうゆう館(旧敬老会館)改築		コード	39470	高齢者の社会参加と交流の拡大		30			
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		17年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(3)	施策番号		事業コード	2
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 老朽化したゆうゆう館(旧敬老会館)						(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条 (3) 老人憩の家の設置運営について					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			実施計画に基づき、老朽化したゆうゆう館(旧敬老会館)を選定し、改築する。また、介護予防拠点としてゆうゆう館を利用するため、ゆうゆう館を改修する。						事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 従来の機能・役割である「憩いの場」に、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」としての役割・機能を加えた施設にする。また、介護予防事業を実施し、地域の介護予防拠点として活用していく。					
	活動指標名(式)			(1) ゆうゆう館(旧敬老会館)改築数(累計) (2) 介護予防拠点の機能を持ったゆうゆう館数(累計)						成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) ゆうゆう館数に対する改築したゆうゆう館数の割合 (2) ゆうゆう館数に対する介護予防拠点機能を持ったゆうゆう館数の割合					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%				
	活動指標(1)		館	0	0	0	0	0	1	3	0.0				
	活動指標(2)		館	0	0	1	1	5	8	17	29.4				
	成果指標(1)		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	9.1	0.0				
	成果指標(2)		%	0.0	0.0	3.0	3.0	15.2	24.2	51.5	29.5				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	7,145	10,423	57,699	78,203	125,871	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内)投資的経費等		千円	0	7,145	10,423	57,451	78,203	125,871						
	(内)委託費		千円	0	6,959	3,136	0	373	5,389						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.00	0.20	0.60	1.05	0.95	1.05	ゆうゆう館数に高齢者活動支援センターも含むものとする。ゆうゆう館と高齢者活動支援センターの合計は33館となる。  介護予防拠点の整備については、当初予算ではなく補正予算で対応したため、活動指標(2)の計画数と実績数で差が生じている。					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	1,812	5,436	9,513	8,607	9,513						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	0	8,957	15,859	67,212	86,810	135,384						
	単位あたりコスト( - )÷		円						9,513,000						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			0			
		国・都等からの支出金		千円	0	0	7,287	7,500	37,010			25,459			
特定財源計 +		千円	0	0	7,287	7,500	37,010	25,459							
差引:一般財源 -		千円	0	8,957	8,572	59,712	49,800	109,925							
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			ゆうゆう今川館(旧井草敬老会館)改築工事					1	所	48,521					
			介護予防拠点整備(ゆうゆう下井草館ほか3館)					4	館	29,309					
			ゆうゆう高円寺南館実施設計					1	所	373					
			その他 ( )							0					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 193 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%	500.0	18年度予算 執行率%	135.5
	ゆうゆう今川館(旧井草敬老会館)の改築工事が18年7月から始まった(進捗率52%)。ゆうゆう高円寺南館では、改築工事に向けて設計を行った(進捗率80%)。介護予防拠点整備のため、ゆうゆう館の改修工事を4館で実施したが、補正予算で対応したため、18年度予算執行率が100%を大きく超えている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	ゆうゆう館の改築及び介護予防拠点化のための改修工事は、計画どおり実施することができた。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいる。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向け施設としては現在では考えられないような設備がそのまま残っている。また、和室2、洋室、茶室、浴室等からなる部屋の構成も現在の高齢者需要にあわない。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学識経験者、利用団体代表、区民代表、区職員で構成される「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」が開催され、敬老会館の役割・機能について従来の「憩いの場」に加えて、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」の4本柱を基本とする提言を受けた(平成17年9月)。
	今後の予測	団塊の世代がまもなく高齢者となり、利用対象者は今後も増加する。それに伴い、元気高齢者層がこれまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも利用しやすい施設整備が望まれていくと思われる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由 )	理由: 高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の拠点となる場所へのニーズも増える。また、虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、ゆうゆう館(旧敬老会館)の果たす役割は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: ゆうゆう館の改築・改修とともにその目的は明確であるため、その目的以上の成果を付加することは困難である。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 改築及び改修をするために、利用者に負担を強いることは適当ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 改築及び改修工事については入札で業者を選定している。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 ゆうゆう館の改修・改築工事は、高度な専門知識を有する建築会社・設計事務所に工事請負・設計委託を行っている。	
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までにゆうゆう館の改築を3館、介護予防拠点としての機能をもったゆうゆう館を16館整備する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 改築・改修工事を実施するにあたっては、併設施設(保育園・児童館等)との調整が必要となる。 改築・改修工事の対象館を設定するにあたっては、関係各課と協議を行い、調整をしていく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成20年度には、ゆうゆう館の改築における設計0.5館、工事0.8館を予定している。また、介護予防拠点整備のための改修工事を3館で実施する予定。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			ふれあい入浴・まちの湯健康事業					整理番号	287	枝番号			
担当部課名			保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先 電話番号	2247	昨年度 整理番号	292	昨年度 枝番号		
係名			いきがい活動支援係					上位施策名		No			
予算事業名			ふれあい入浴		コード	24950	高齢者の社会参加と交流の拡大				30		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		49 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		<input type="checkbox"/> 施策番号	事業コード
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 老人福祉法第4条1項及び第13条1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱 (3) 杉並区まちの湯健康事業実施要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区内の公衆浴場を借上げ、第1から第4までの日曜日の営業開始前の時間に月1回もしくは月2回、浴場の半数ずつを利用料100円で高齢者に開放する。 また、公衆浴場を活用した健康事業を、月1回以上実施する。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が公衆浴場に向向き、心身のリフレッシュを図るとともに、高齢者同士の親睦を深めることで、社会参加、交流の拡大が図られる。 また、身近な公衆浴場で、継続して健康事業に参加することで、高齢者の健康増進が図られ介護予防につながる。				
	活動指標名(式)			(1) ふれあい入浴年間延べ利用者数 (2) まちの湯健康事業年間延べ参加者数					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ふれあい入浴1回当りの利用者数 = 年間延べ利用者数 ÷ 実施回数 (2) まちの湯健康事業1回当りの参加者数 = 年間延べ参加者数 ÷ 実施回数				
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%		
	活動指標(1)		人	86,250	73,920	51,055	52,800	41,456	46,560				
	活動指標(2)		人			2,650	2,880	3,087	3,289				
	成果指標(1)		件	76.7	90.0	76.8	80.0	79.0	80.0				
	成果指標(2)		%			7.5	7.5	8.7	8.7				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	34,038	30,882	29,591	33,940	29,229	34,079	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 17年度からふれあい入浴の一部が「まちの湯健康事業」に移行			
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0						
	(内) 委託費		千円	33,750	30,732	15,541	33,900	29,191	34,039				
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.45	0.45	0.45	活動指標(1)の計画値 17年度 = 実施浴場 × 年間実施回数 × 70人 で算出 18・19年度 = 実施浴場 × 年間実施回数 × 80人 で算出			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,550	4,530	4,530	4,077	4,077	4,077				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	38,588	35,412	34,121	38,017	33,306	38,156				
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	447	479	668	720	803	820				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		活動指標(2)・成果指標(1)(2) 年々公衆浴場の廃業や自家風呂の普及により利用者が減っているため、18年度から指標を変更した。			
		国・都等からの支出金		千円	17,040	8,184	14,828	9,039	8,301			9,352	
特定財源計 +		千円	17,040	8,184	14,828	9,039	8,301	9,352					
差引: 一般財源 -		千円	21,548	27,228	19,293	28,978	25,005	28,804					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			事業委託(ふれあい入浴)					525	回	12,600			
			事業委託(まちの湯健康事業)					353	回	16,591			
			事務費							38			
			その他 ( )							0			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 287 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	78.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	107.2	18年度予算 執行率%	86.1
	ふれあい入浴及びまちの湯健康事業を実施する公衆浴場が廃業等により減少したため、実施予定回数を16.9%下回った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	まちの湯健康事業を積極的に行う浴場について実施回数を増やした。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成19年度 38か所 ・高齢者(60歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成19年度 126,047人(24.2%)				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	健康事業に参加して仲間の輪が広がり、気持ちが明るくなった。月1回では物足りないのもっと回数を増やして欲しい。				
	今後の予測	・公衆浴場の減少 ・高齢者(60歳以上)人口の増加				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:高齢者の憩いの場として、高齢者同士が親睦を深めることにより、社会参加、交流の拡大に貢献している。また、継続的に健康事業を実施することにより、介護予防を推進することができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:健康事業の内容を見直すことにより、事業効果が上がる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:利用者料金の値上げもあり得るが、無料から100円になった時点での減少結果からも利用者の大幅な減少が見込まれる。				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:1回あたりの委託料は、公衆浴場の入浴料金の差額と利用者数を基礎に算定しており、受益者負担を見直さない限り困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題:区内の公衆浴場を廉価で開放する事業を浴場組合に委託している。また、17年度から公衆浴場を活用した健康事業を浴場組合に委託するとともに、シルバー人材センターやNPO法人等に健康事業の講師派遣を依頼している。ふれあい入浴は、その目的である高齢者の憩いの場として高齢者同士の親睦を深めることについて一定の成果をあげているが、健康事業については、公衆浴場の減少や実施スペースの狭小により利用者の伸び悩みが課題である。				
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 第3次行財政改革実施プランによる高齢者入浴サービスの見直しを検討する中で、19年度浴場組合に依頼したふれあい入浴利用者へのアンケート調査を基に検証し、20年度予算編成時までにふれあい入浴事業の拡充について決定する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 実施回数を増やせない浴場がある。 浴場組合が各浴場の現状を把握した上で区と協議する。 健康事業の利用者を増やせない主な要因は公衆浴場の脱衣場等の狭小にあるため、都の福祉保健基盤等区市町村包括補助事業を活用し、浴場の実施スペースの拡大及びバリアフリー化に伴う施設改修費の助成を行う。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ふれあい入浴及びまちの湯健康事業の規模を拡充する場合は事業費増が見込まれる。	



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		風呂っと杉並事業支援				整理番号	288	枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先 電話番号	2247	昨年度 整理番号	293	昨年度 枝番号	
係名		いきがい活動支援係				上位施策名		No			
予算事業名		風呂っと杉並		コード	22450	高齢者の社会参加と交流の拡大		30			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 50歳以上の区民		(1) 杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱		(2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内の公衆浴場を50歳以上4名以上のグループに有料(利用料は浴場によって異なる)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業に要する経費について、運営費及び施設改修費を補助する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		公衆浴場が高齢者の健康や生きがいを目的としたグループ活動の拠点となり、高齢者の社会参加と交流の拡大が図られ、健康増進につながる。				
	活動指標名(式)		(1) 風呂っと杉並事業を実施する浴場数		(2)		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標		(1) 1所あたりの1か月の利用者数		
指標		区分	単位	16年度実績	17年度計画	17年度実績	18年度計画	18年度実績	19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%
		活動指標(1)	所	17	20	17	20	17	20	20	85.0
総事業費・コスト把握		事業費	千円	7,371	10,800	4,742	10,720	5,962	10,720	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  18年度 廃業1所 新規実施浴場1所	
		(内)投資的経費等	千円								
財源		(内)委託費	千円								
		職員数(常勤 非常勤)	人	0.50	0.40	0.25	0.20	0.30	0.30		
人件費		常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,550	3,624	2,265	1,812	2,718	2,718		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費		++	千円	11,921	14,424	7,007	12,532	8,680	13,438		
		単位あたりコスト(-)÷	円	701,235	721,200	412,176	626,600	510,588	671,900		
受益者負担分		国・都等からの支出金	千円	2,445	5,445	2,695	5,360	2,981	5,360		
		特定財源計 +	千円	2,445	5,445	2,695	5,360	2,981	5,360		
		差引:一般財源 -	千円	9,476	8,979	4,312	7,172	5,699	8,078		
		受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)	
		施設改修費助成						2	所	1,870	
		事業運営費助成						1	式	4,092	
		その他 ( )								0	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 288 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	85.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	55.6
		改修工事を実施する浴場が計画数値を下回った。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		浴場の改修工事はバリアフリー化だけにとどまらず浴場にとって経済的負担が大きいため計画数を達成することはできなかったが、浴場2件の積極的な取り組みで改修工事が実施できた。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成19年度 38か所 ・高齢者(60歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成19年度 126,047人(24.2%)				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	ひとり暮らしなので、趣味の活動を通して仲間と楽しく過ごせる時間が日々の励みになる。				
	今後の予測	・公衆浴場の減少 ・高齢者(60歳以上)人口の増加				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:高齢者の健康や生きがいを目的としたグループ活動の拠点とすることで、高齢者の社会参加、交流の拡大に貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:事業の拡大に積極的な取り組みを行うよう浴場組合に働きかける。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:浴場組合の自主事業である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:実施回数が多くなるほど、浴場組合の持ち出しが多くなる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題:高齢者の活動、交流を促進するために、公衆浴場を開放し実施する杉並浴場組合の自主事業「風呂っと杉並事業」に要する経費の一部を補助している。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	公衆浴場の自主事業であるにもかかわらず、実施浴場が増えないことが課題である。				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 高齢者のいきがい活動の場が拡充できるよう、19年度中に浴場組合と風呂っと杉並事業の活性化について協議する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	13年度から補助を行っていた施設改修費を19年度で終了する。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		いきいきクラブ活動支援						整理番号	291	枝番号				
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先 電話番号	2247	昨年度 整理番号	295	昨年度 枝番号				
係名		いきがい活動支援係						上位施策名		No				
予算事業名		いきいきクラブ		コード	25350	高齢者の社会参加と交流の拡大				30				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		33 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会						(1) 老人福祉法第4条、第13条2項 (2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱 (3) 杉並区いきいきクラブ連合会補助金交付要綱					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		杉並区に87あるいきいきクラブの、社会奉仕活動・友愛活動・生きがい活動・健康づくり等のクラブ活動に対して各クラブの会員数を考慮し、助成をする。また、全クラブが加入している連合会に対しても運営費の助成を行う。						事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 会員一人一人が積極的に社会参加や自立をし、高齢期をいきいきと生活できるようにする。また、連合会は各いきいきクラブの会員増加や社会活動等の推進を積極的に行っていく。					
	活動指標名(式)		(1) いきいきクラブ加入人員 (2) 地域福祉活動費受給クラブ割合 = 地域福祉活動費受給クラブ数 ÷ 全クラブ数 × 100						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) いきいきクラブ加入率 = いきいきクラブ加入数 ÷ 60歳以上の人口 × 100 (2) 1か月のボランティア活動回数(クラブあたり) = ボランティア活動回数 ÷ 全クラブ数 ÷ 12月					
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%				
指標	活動指標(1)		人	7,920	8,000	7,597	8,000	7,540	8,000					
	活動指標(2)		%	99										
	成果指標(1)		%	6.6	6.2	6.2	6.1	6.1	5.8					
	成果指標(2)		回	17	20	18	20	16	20					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	32,480	32,025	30,516	31,955	30,415	31,774	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0					
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.60	0.50	0.84	0.70	0.60	0.60	活動指標(2)について、 平成17年度から地域 福祉活動費を定例活 動費に取り入れたた ため。				
	人 件 費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,460	4,530	7,610	6,342	5,436	5,436					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	37,940	36,555	38,126	38,297	35,851	37,210					
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	4,790	4,569	5,019	4,787	4,755	4,651					
	財 源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円	3,346	3,393	3,317	3,381	3,302			3,381		
特定財源計 +		千円	3,346	3,393	3,317	3,381	3,302	3,381						
差引: 一般財源 -		千円	34,594	33,162	34,809	34,916	32,549	33,829						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		いきいきクラブ助成金(委託等)								29,747				
		福祉大会分担金(委託等)								520				
		都市交流懇談会								127				
		助成事務費								21				
		その他 ( )								0				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 291 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	94.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	95.2
		クラブ会員数の検証が当初の予定より大きかったため。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年度に杉並区いきいき連合会の組織強化を実行した。具体的には、連合会が実施するスポーツ大会や演芸大会などを実行していくための専門的な部制を設立する支援などを行った。また、連合会及び各クラブ活性化を図るために各クラブの意識改革に取り組んだが、一部のクラブには会長役員等の高齢化に伴い不在欠員等が生じ活動に支障をきたしていた。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和33年当初 高齢者人口29,907人に対し3クラブ 平成5年 高齢者人口95,172人に対し会員数12,071人(12%)クラブ数96 平成10年 高齢者人口107,118人に対し会員数11,606人(11%)クラブ数100 平成15年 高齢者人口118,129人に対し会員数8,224人(7%)クラブ数90 平成18年 高齢者人口123,366人に対し会員数7,540人(6%)クラブ数87 平成19年 高齢者人口124,892人に対し会員数7,279人(5%)クラブ数84				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	いきいきクラブ会員が高齢化しているため、入会しづらい。また魅力的な活動が行われていない。				
	今後の予測	65歳以上の高齢者人口(率)の予測:平成22年102,432人(19.35%)、平成27年111,724人(21.25%) (平成17年3月 杉並区基本計画・実施計画の数値)				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区内全域にわたって設立されているクラブの活動により、広範囲にわたる高齢者の社会参加が行われるとともに、地域の社会福祉や高齢者の生きがいを支援する役割を果たしている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ・会員数増加のためホームページや広報等を利用した積極的なPR活動。 ・研修会、講演会を行い各クラブ指導者の育成を行う。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 助成対象活動の一部についても、各クラブとも会員費を徴収し活動している。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 実績に基づいて補助金額を決定するような方法を取り入れることを検討する。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 ボランティア活動や高齢者の生きがいの向上するための活動、会員増強のための積極的な活動に対して運営費の補助を実施している。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 各クラブの意識改革に取り組んだが、一部のクラブには会長役員等の高齢化に伴い不在欠員等が生じ活動に支障をきたしている。このため、会長不在等を理由に解散を検討しているクラブには連合会が積極的に支援するように働きかける。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 会長研修会などを通じて、各会長には活性化に対する共通の認識が深まってきたが、各クラブの会員については、活性化に対する認識が浸透していないので、連合会の行事などを利用して、会員への周知を図る。	
	(1) 20年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 クラブの活性化を図ることで会員数の増が見込まれるが、大幅な予算の増減はない。	



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		シルバー人材センター支援						整理番号	292	枝番号		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先 電話番号	2246	昨年度 整理番号	296	昨年度 枝番号		
係名		いきがい活動支援係						上位施策名		No		
予算事業名		シルバー人材センター		コード	25550	高齢者の社会参加と交流の拡大				30		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等					
	対象		社団法人シルバー人材センター				(1) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条 (2) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱 (3) 杉並区シルバー人材センター運転資金貸付要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) シルバー人材センターの安定した事業運営を図る。					
活動指標名(式)		(1) 就業実人員数 (2) 月平均会員数(各月末会員数の和÷12月)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 延べ受託件数(月単位で実績のあった受託件数の累計) (2) 会員の就業率(就業実人員数÷月平均会員数)						
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		人	1,850	1,975	1,860	1,986	1,864	1,961	2,073	89.9	
	活動指標(2)		人	2,646	2,784	2,672	2,805	2,693	2,802	3,588	75.1	
	成果指標(1)		件	14,293	15,378	15,098	16,688	15,879	18,114	23,197	68.5	
	成果指標(2)		%	70	71	70	71	70	70	80	87.5	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	164,096	176,265	162,837	175,361	167,014	170,518	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.60	0.50	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,460	4,530	2,718	2,718	2,718	2,718		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	169,556	180,795	165,555	178,079	169,732	173,236			
	単位あたりコスト( - )÷		円	91,652	91,542	89,008	89,667	91,058	88,341			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	14,382	14,382	14,382	14,382	14,382	12,495		
特定財源計 +		千円	14,382	14,382	14,382	14,382	14,382	12,495				
差引:一般財源 -		千円	155,174	166,413	151,173	163,697	155,350	160,741				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			人件費(常勤職員人件費)					1	式	103,696		
			運営費(嘱託員、臨時職員人件費、管理経費など)					1	式	55,318		
			事業費					1	式	3,000		
			運転資金貸付					1	式	5,000		
			その他 ( )							0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 292 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	93.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	96.0	18年度予算 執行率%	95.2
	会員数、契約件数、就業実人員とも、前年度比でそれぞれ、0.7%、5.2%、0.2%増とわずかだが着実に成果を上げている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	区内全域に新聞折り込みによるPRや会員自身によるPRチラシのポスティングなど、普及啓発活動による規模の拡大に努めた。また研修・講習による知識・技能、接客態度の向上や、事務処理の効率化に引き続き取り組み、その結果として、契約件数・契約金額が増加するとともに、お客様満足度調査を行い接客態度の向上に努めた。平成17年度に策定した、向こう10年間の「中長期計画」の基本指針に基づいた着実な事業の推進を図った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	60歳以上の総人口(区)に占める割合:昭和54年 8.57% 平成19年 24.20% シルバー人材センター会員数: 昭和54年度 1,280人 平成18年度 2,693人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	会員数の増加とともに、会員の就業に対する考え方も多種多様になってきている。そのため、シルバー人材センターの会員になってもなかなか自分の希望する仕事に就業することができないという苦情がある。また、一般区民からセンター会員に対する接客態度に対する苦情もある。				
	今後の予測	団塊の世代が定年を迎え、優れた知識・技能、そして多様な考え方をもちた高齢者が、地域に戻ってくる。会員の幅広い就業に対する要望に応えられるようホワイトカラー向けをはじめとする就業機会の確保、事業開拓がより一層求められるとともに、公益法人として如何に地域貢献をしていくかが課題となる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:シルバー人材センターは、高齢者に就業の機会を提供することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりの面で大きく貢献している。「いきいき元気に生涯現役」を目標とする区として、その支援は重要な施策である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:「中長期計画」に定めたビジョン、基本指針、中期計画に基づいた着実な事業の推進を図り、会員数、就業者数、契約の件数及び金額を増やす。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:該当しない				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:会員数、就業者数、契約件数・金額の増を図り、単位あたりのコストを下げる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題 (社)杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、人件費、管理運営費、事業費の一部に対し補助金を交付している。また、同センターの事業周知を広報すぎなみによって行っている。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	高齢者のいきがいづくりとしての就労機会の提供の分野で協働を進めており、就業実人員数は毎年わずかだが上昇している。				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「中長期計画」に基づき、幅広い就業機会の確保を図るとともに、公益法人として地域高齢者へのサービス提供なども含め、広く地域貢献を行う人材センターとして活動できるよう、区としても引き続き安定した支援を行っていく。 平成22年度までに、人件費を中心とした補助金の見直しの検討をする。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 会員の拡大には、ホワイトカラー向けの就業機会の開拓拡大が急務であるが企業側の求人需要は依然として小さい。また、公共事業への依存度を低くするためにも、完成度の高い仕事の履行、接客態度の向上による民間顧客の確保に努める必要がある。さらには、人件費や管理運営費の補助や運転資金の貸付金について、法人の自立を促すためにも、将来的には他区市町村に倣って見直す必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 生涯現役として、シルバー人材センターに就業機会を求める高齢者は、ますます増加する。センターの中長期計画に基づき公益性と収益性のバランスの取れた経営等、改革に努めるよう協力を求め続ける。公共事業や補助金に依存しない事業運営ができる財政基盤としていくことが望ましいが、現在の厳しい社会経済情勢のもと安定した事業運営を図るため、引き続き前年度程度の補助金が必要である。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者いきいき事業				整理番号	293	枝番号						
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先 電話番号	2246	昨年度 整理番号	297	昨年度 枝番号				
係名		いきがい活動支援係				上位施策名		No						
予算事業名		いきがい活動支援		コード	25650	高齢者の社会参加と交流の拡大		30						
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	3	施策番号		事業コード	1
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 概ね50歳以上の区民						(1) 老人福祉法第4条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者活動支援センターやゆうゆう館で、高齢者のいきがい、健康づくり、パソコン等に関する講座などを、地域のNPO法人・団体等と協働で開催した。また地域で活動するNPO・団体で構成される「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」で、高齢者活動団体の連携、ネットワークづくりを図った。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		定年を迎え、地域に戻ってくる団塊の世代を含め、高齢者の生きがいを高める活動・学習の場を提供し、地域で活動する団体相互の情報交換・連携による事業の拡大で、高齢者が地域の中でいきいきと楽しく暮らしていけるようにする。					
	活動指標名(式)		(1) 教室等参加者の合計数 (2) 高齢者いきいき事業協働実施団体数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) ゆうゆう館協働事業の1館当りの年間参加者数 (14,189人 ÷ 9館) (2)					
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%				
指標	活動指標(1)		人	1,362	1,500	3,190	8,400	18,554	18,500	16,150	114.9			
	活動指標(2)				3	3	18	18	22	45	40.0			
	成果指標(1)			78.60	80.00	78.60	960	1,576	1,700	2,000	78.8			
	成果指標(2)				10	12								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,511	473	513	16,200	14,979	15,039	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円				12,000	11,423	14,000					
	(内) 委託費		千円											
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.85	0.35	0.40	0.65	0.65	0.65	6月18日健康都市杉並 ファロ2006イベント (参加人数:162人)・11 月11日中央イベント(参加 人数:448人)を開催し た。(平成18年度インセン ティブ経費事業として実 施) 17年度活動指標は高 齢者いきいき事業協働連 絡会実施回数であったが 予算内のみの実施回数で あり、協働の増加が見込 まれる団体数に変更した。 17年度成果指標 = (代) 65歳以上で生きがいを感じ ている高齢者の割合は3 年ごとの高齢者実態調査 報告書 に基づくものであり、18年度開始された協 働事業館の参加者数を基 礎としたものに変更した。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,735	3,171	3,624	5,889	5,889	5,889					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	11,246	3,644	4,137	22,089	20,868	20,928					
	単位あたりコスト( - )÷		円	8,257	2,429	1,297	1,201	509	374					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円				8,148	6,045				7,519	
特定財源計 +		千円	0	0	0	8,148	6,045	7,519						
差引:一般財源 -		千円	11,246	3,644	4,137	13,941	14,823	13,409						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容		規模		単位	事業費(千円)							
		ゆうゆう館の協働事業運営		9		館	11,423							
		健康都市杉並ファロ2006		2		回	1,597							
		高齢者活動支援センター、ゆうゆう館健康事業		143		回	352							
		杉の樹ホール事業					250							
その他 ( 高齢者いきいき事業協働推進連絡会 )		2		回	69									

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 293 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	220.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	92.5
		地域のNPO・団体等と協働で開催することで、より少ない経費で事業の運営を実現することができた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		18年度は、ゆうゆう館9館で新たな協働事業を展開し、少ない経費で参加者数を大幅に増大することができた(参加者数 14189人)。高齢者活動支援センター・ゆうゆう館では、地域の団体・NPO法人と協働で健康講座等を拡大実施(143回 3535人)した。また、地域で活動するNPO・団体で構成される「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」(2回 30人)を開催し、相互の連絡・ネットワークづくりを図り、高齢者に対する自主的な活動を支援した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成19年18.74%、					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	定年後の過ごし方として、今までの経験や技術を活かして地域で活動をしたい、仲間がほしいなど社会参加への希求がある。					
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成19年 97,606人 18.74% 平成22年 102,432人 19.35% 高齢社会が進む中、団塊の世代が定年を迎え、地域社会の人口構成が急速に変化する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 高齢者活動支援センターやゆうゆう館での事業に多数の参加者があり、高齢者の健康やIT関係などへの学習意欲の高まりが確認されている。地域で活動する団体の交流や情報交換が積極的に行われ、新しい活動機会の提供が図られつつある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 高齢者に関心あるテーマで開催するため、地域のNPO法人や団体が主体的に運営できるような環境整備をする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 事業の実施は、ある程度受講者からの受講料で運営する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 受益者負担の導入と、魅力ある事業を実施することで、高齢者の参加者が増えれば経費が削減される。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働による成果と課題: NPO法人や地域の団体の参加、協力を得て、少ない経費で実施することができた。今後、団塊の世代が地域に戻ることで、ますます多様化する、高齢者の学習・地域活動への要望に応えられるよう、ゆうゆう館協働事業者による、様々な協働事業を展開する。					
	(3) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに全ゆうゆう館を協働事業実施館とし、高齢者の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」の場としての活用を図る。「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」にゆうゆう館協働事業者に参加してもらい、いきいきと魅力ある協働事業の実現に向け、活発に活動できるよう事業の自主運営をめざす。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 全ゆうゆう館を協働事業実施館にするには、受託団体の確保が最大の課題であり、すぎなみ地域大学等と連携を取りながら、協働事業実施者の確保に努める。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 地域のNPO法人や団体との協働事業を進め、より少ない経費で、高齢者への学習・社会参加の場をさらに提供する。	



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者のための起業・就労支援					整理番号	294	枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先電話番号	2246	昨年度整理番号	298	昨年度枝番号		
係名		いきがい活動支援係					上位施策名		No			
予算事業名		いきがい活動支援		コード	25650	高齢者の社会参加と交流の拡大		30				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>政策番号</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>施策番号</td> <td></td> </tr> </table> 事業コード 1		政策番号	3	施策番号	
	政策番号	3										
	施策番号											
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 概ね55歳以上の区民		(1) 老人福祉法第4条 (2) (3)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		働く意欲のある高齢者が、就労することで生きがいある生活を送るとともに、社会参加することによって地域の活性化を実現していく。			
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		就業相談や就業情報の提供を行うとともに、起業についての心構えや実務的な知識を得るための講座をNPO法人に委託して開催し、高齢者の就労を支援する。		活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
		(1) 起業支援講座参加者数 (2) 就業支援講座参加者数		(1) 起業支援講座参加者のうち実際に起業した人数(講座終了後1年間) (2) 就業支援講座参加者のうち実際に就業した人数(講座終了後1年間)								
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)	人	27	50	24	30	15	20	30	50.0		
	活動指標(2)	人				50	84	50	50	168.0		
	成果指標(1)	件	27	50	24	6		6	9	0.0		
	成果指標(2)	%				10		10	15	0.0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	462	446	446	886	886	886	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	462	446	446	886	886	600			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.30	0.30	0.25	0.25	0.25	0.25	平成17年度までは、 活動指標(1) 起業・就労支援講座参加者数 成果指標(1) 講座への参加者数		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,730	2,718	2,265	2,265	2,265	2,265			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	3,192	3,164	2,711	3,151	3,151	3,151			
	単位あたりコスト( - )÷		円	118,222	63,280	112,958	105,033	210,067	157,550			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		0	
		国・都等からの支出金		千円	231	223	223	443	443		443	
特定財源計 +		千円	231	223	223	443	443	443				
差引: 一般財源 -		千円	2,961	2,941	2,488	2,708	2,708	2,708				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		起業支援講座(委託)					10	回	352			
		就業支援講座(委託)					8	回	310			
		パソコン就業支援講座(委託)					5	回	224			
		その他 ( )							0			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 294 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	50.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	168.0	18年度予算 執行率%	100.0
		起業支援講座の定員数を減らし、就業支援講座の定員数を当初計画よりも増やしたため活動指標(1)の18年度達成率は50%となったが、活動指標(2)の18年度達成率は168%となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		事業の委託先を3法人に分割したことによって、前年度と同予算で、講座回数の増、講座内容をさらに充実させ、受講者のニーズにきめ細かく対応した多彩な講座を開設することができた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	13年度、16年度の働く意欲のある高齢者の割合はいずれも20%強を占めていた。現在では、高齢化による高齢者の増加、年金問題、格差社会などの諸問題が生じており、高齢者の「生涯現役」という思いはますます強くなっていく。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	講座参加者からは、力づけられた、大変参考になったなど好評を得ている。					
	今後の予測	高齢者人口の増加とともに、就業に対する考え方もますます多種多様になっていく。幅広い就業に対する要望に応えられるよう、就業機会の確保がより一層求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 就業によって高齢者の社会参加が実現する。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由: 理由または具体的内容: NPO法人などの非営利団体だけでなく、民間会社など実施可能な主体を可能な限り検討する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: より就業に有利に働く事業の内容が提示できれば、受講料の一部やテキスト代等の実費の徴収等見直しの余地はある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [事業の統廃合] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 産業振興課、勤労福祉協会などと講座内容が重複している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 就業支援講座8回 就業支援講座(パソコン)5回 起業支援講座10回					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )	以上の3コースの講座をNPO法人3団体にそれぞれ委託して低コストで多彩な講座を開催することができた。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 実際に、就業及び起業に結びつける事業にするには、就業斡旋を含めた総合的な就業起業支援事業を展開することが必要であり、実施主体をNPO法人等の非営利団体に限定せず、民間会社などを含めて可能な限り検討、選択する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在の労働市場において高齢者の需用はきわめて小さい。また週20時間以内の軽易な仕事の斡旋は、区の財政援助団体のシルバー人材センターで行われているので、今後センターのすべき業務と区がすべき業務の調整及び明確化を行った上、事業のあり方を検討する必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 民間事業者市場化提案の状況を踏まえ、就業総合支援センターを検討・開設する。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会貢献スタッフ派遣事業				整理番号	295	枝番号		
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課	コード	091403	連絡先電話番号	2246	昨年度整理番号	299	昨年度枝番号		
係名	いきがい活動支援係	上位施策名				No				
予算事業名	いきがい活動支援	コード	25650	高齢者の社会参加と交流の拡大				30		
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 政策番号 施策番号 事業コード <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 概ね50歳以上の区民		(1) 老人福祉法第4条 (2) 杉並区高齢者人材バンク設置要綱 (3) 杉並区社会貢献スタッフ派遣事業運営要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	社会貢献意欲のある高齢者に技術・技能等を取得する講座を開催し、一定のレベルに達した受講者を、派遣要望のある地域のグループ等に派遣する。また、既に知識・技術・経験を持っている高齢者を高齢者人材バンクに登録し、派遣要望のある地域のグループ等に派遣する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 知識・技術、経験を持ち地域で社会貢献する意欲のある高齢者を、各種団体・グループ等に紹介することで、高齢者の生きがい支援を図り、地域社会の担い手となるようにする。						
	活動指標名(式)	(1) 人材バンク登録者数 (2) 年間延べ派遣先数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 人材紹介率 = 紹介件数 ÷ 人材バンク登録者数 × 100 (2) 社会貢献スタッフ年間延べ派遣人数						
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%
	活動指標(1)	人	65	80	65	90	65	120	150	43.3
	活動指標(2)	件		30	36	30	9	30	50	18.0
	成果指標(1)	%	5	30	19	50	0	250	333	0.0
	成果指標(2)	人				100	270	300	500	54.0
総事業費・コスト把握	事業費	千円	524	131	80	371	360	371	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0		
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0	0	0		
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.40	0.30	0.45	0.45	0.45	0.45	19年度に杉並区高齢者人材バンク設置要綱を、杉並区社会貢献スタッフ派遣事業運営要綱に移行(吸収)する。活動指標(2)を、平成17年度「社会貢献スタッフ派遣事業受講者数」から、18年度以降「年間延べ派遣先数」に変更し、18年度から新たに成果指標(2)「社会貢献スタッフ年間延べ派遣人数」を設ける。 19年度より、活動指標(1)と成果指標(1)の人材バンク登録者数を、社会貢献スタッフ登録者数に変更する。	
	人件費	千円	3,640	2,718	4,077	4,077	4,077	4,077		
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0	0		
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	4,164	2,849	4,157	4,448	4,437	4,448		
	単位あたりコスト( - )÷	円	64,062	35,613	63,954	49,422	68,262	37,067		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		
国・都等からの支出金		千円	230	65	38	186	179	185		
特定財源計 +		千円	230	65	38	186	179	185		
差引: 一般財源 -		千円	3,934	2,784	4,119	4,262	4,258	4,263		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)				
	社会貢献スタッフ派遣		270		回	190				
	健康エアロビクスレベルアップ講座		4		回	45				
	百人一首読み手養成講座		3		回	60				
	百人一首読み手レベルアップ講座		1		回	15				
	その他 (消耗品、役務費等 )					50				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 295 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	72.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	30.0	18年度予算 執行率%	97.0
		予算の残金は、社会貢献スタッフの欠席による実費弁償費用の残と消耗品の契約落差金による残					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・ゆうゆう館をすぎなみ地域大学卒業生の活動の場として活用できないか検討中 ・高齢者いきいき事業協働推進連絡会において、会員同士が講師の派遣などの人材派遣を融通し あえるような土壌ができつつある。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	NPO・ボランティア活動をやってみたい高齢者は当初より年々増えている。また、団塊世代の地域貢献策も視野に入れ、現在では50歳代の社会貢献スタッフが活躍している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	新たな技術習得の場を設けることよりも、これまでに培ったものを発揮してもらう場を提供してほしい。					
	今後の予測	団塊世代が退職を迎え、地域に戻ってくるにあたって、技能や経験等を生かした地域貢献の要望はますます高まる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 中(理由 )	理由： 高齢者の技能・経験や社会貢献意欲を活用し、地域での活動をととして社会参加を促している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容：					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容： 当課の事業の協働相手として社会貢献スタッフを積極的に活用していくほか、他課や民間団体等の事業の協働相手として推薦する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容： 社会貢献スタッフ養成講座参加者に、テキスト代の実費負担などを求めるなど見直しの余地はある。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある[事業の統廃合](具体的内容 )	理由または具体的内容： ボランティア推進センター、すぎなみ地域大学などの事業の棲み分けを行う。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 社会貢献スタッフ養成講座の講師を依頼した団体と養成講座修了者とともに、高齢者活動支援センターやゆうゆう館等で、健康エアロビクス、てぬぐい体操、百人一首教室(後援)などの事業を開催した。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 すぎなみ地域大学との事業の棲み分けの検討 (例) 養成講座はすぎなみ地域大学で実施し、当課は派遣先(ゆうゆう館での事業など)を発掘する。 いきいき事業協働推進連絡会会員の個別事業やゆうゆう館協働事業での杉並区社会貢献スタッフ派遣事業登録者の活用	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 既に経験や知識をもつ高齢者人材バンク登録者の派遣先が発掘できない状況にあるため、社会貢献スタッフ派遣事業と統合し、今後、高齢者活動支援センターやゆうゆう館などの事業で、登録者の活動の場を創出する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 当課の事業に社会貢献スタッフ派遣事業登録者として参加してもらうための新規事業を企画し、社会貢献スタッフの活動の場の創出を拡大する。	



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		長寿祝い品贈呈				整理番号	311	枝番号			
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課	コード	091403	連絡先電話番号	2247	昨年度整理番号	312	昨年度枝番号			
係名	いきがい活動支援係	上位施策名			No						
予算事業名	敬老事業	コード	30150	高齢者の社会参加と交流の拡大			30				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	50 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 100歳以上の区民 100歳以上の区民を収容している高齢者施設		(1) 老人福祉法第4条、第5条 (2) (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	100歳以上の高齢者を対象に長寿の祝いとして、区が送付したカタログから該当者の希望する品を誕生日に送付する。また、新たに100歳に到達した者のうち希望者には、区幹部職員が自宅を訪問して祝い品を贈呈するほか、区長が高齢者施設に出向き高齢者訪問式典を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 長寿を祝うことで、高齢者が多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として敬愛され、長生きをしてよかったと感じられるようにする。					
	活動指標名(式)	(1) 祝い品贈呈者数 (2) 訪問希望者数(個人)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)区全人口に占める100歳以上の高齢者の割合 (2)							
指標	区分	単位	16年度実績	17年度計画	17年度実績	18年度計画	18年度実績	19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	人	168	196	153	195	170	240			
	活動指標(2)	人	4	10	6	10	5	10			
	成果指標(1)	%	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	934	1,715	912	1,715	1,195	2,249	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.40	0.50	0.58	0.45	0.45	0.45			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,640	4,530	5,255	4,077	4,077	4,077		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	4,574	6,245	6,167	5,792	5,272	6,326			
	単位あたりコスト( - )÷	円	27,226	31,862	40,307	29,703	31,012	26,358			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	4,574	6,245	6,167	5,792	5,272	6,326			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単 位	事業費(千円)					
	長寿祝い品贈呈		170		人	1,195					
	その他 ( )					0					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 311 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	87.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	50.0	18年度予算 執行率%	69.7
		事業の対象者が100歳以上の高齢者であるため、死亡等により祝い品を贈呈できない事例がある。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成19年18.74%					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	お礼の声が寄せられている反面、祝い品を辞退する人もいる。					
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成19年 97,606人 18.74% 平成22年 102,432人 19.35%					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:身近な自治体である区が100歳以上の高齢者へ敬老の気持ちを表わすことで、周囲へも高齢者に対する敬愛の気持ちが醸成され、高齢者の孤独感の解消に役立つ。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:長寿の祝いの気持ちを表わす形として、品物を贈る以外の方法があるか検討する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:慶事の祝いに受益者負担はなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:祝い品のコストを下げる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題:区が自ら敬老の意を表することに事業の意義がある。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 長寿への敬意を表わす有効な方法が、祝い品を贈呈する以外にあるかを、20年度までに対象者及び家族にアンケート調査を実施し検証する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 定着している事業なので、新しい形式で長寿の気持ちを表わすことについては、幅広い議論をとおして、区民の理解を得る必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 祝い品を贈呈して敬老の意を表明するという事業の形が定着しているので、早急に変更することは困難である。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		75歳・81歳(半寿)顕彰						整理番号	312	枝番号				
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先 電話番号	2247		昨年度 整理番号	313	昨年度 枝番号		
係名		いきがい活動支援係						上位施策名		No				
予算事業名		敬老事業		コード	30150		高齢者の社会参加と交流の拡大		30					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 75歳・81歳到達者 公立・私立保育園・幼稚園、児童館				(1) 老人福祉法第4条、第5条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (3)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 祝い品を受け取った対象者(75歳、81歳)が、後期高齢期を健やかに過ごし、これからの活動への意欲が高められるようにする。また、地元の子どもからのお祝いカードを受け取ることで、孤立しがちな高齢者の孤独感の解消とする。					
	活動指標名(式)		(1) 75歳対象者数 (2) 81歳(半寿)対象者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)敬老イベント・地域交流会参加者数実績対前年比 (18年度3,352人 ÷ 17年度1,056人) (2) (代)お祝いカード作成協力施設数実績対前年比 (18年度81施設 ÷ 17年度78施設)							
	事業の種別													
総事業費・コスト把握	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%			
	指標	活動指標(1)		人	4,246	4,400	4,305	4,500	4,402	4,600				
		活動指標(2)		人	2,558	2,900	2,806	3,200	3,199	3,400				
		成果指標(1)		%	8.04	8.34	1.62	135.00	317.42	110.00				
		成果指標(2)		%			1.01	111.00	103.85	100.00				
	事業費		千円	9,495	13,131	8,710	13,919	13,994	18,963	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  お祝いカード作成事業 は平成16年度から実 施した。平成17年度実 績より、成果指標(1) の算出式を変更し、新 たに成果指標(2)を追 加した。17年度成果指 標 = (代)地域交流会 参加者数実績(16年度 ÷ 17年度)、(代)お祝 いカード作成協力施設 数実績(16年度 ÷ 17年 度)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円											
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.40	0.50	0.45	0.35	0.35	0.35					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,640	4,530	4,077	3,171	3,171	3,171				
非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0						
総事業費 ++		千円	13,135	17,661	12,787	17,090	17,165	22,134						
単位あたりコスト( - )÷		円	3,093	4,014	2,970	3,798	3,899	4,812						
財源	受益者負担分		千円											
	国・都等からの支出金		千円											
	特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
	差引: 一般財源 -		千円	13,135	17,661	12,787	17,090	17,165	22,134					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		81歳祝い品贈呈						3,199	人	5,927				
		75歳祝い品贈呈						4,402	人	8,009				
		敬老イベント・地域交流会						3,352	人	58				
		その他 ( )								0				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 312 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	97.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	100.5
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	お祝いカード作成協力実績 81施設 3,529枚 敬老イベント・地域交流会参加実績 36ヶ所 3,352人					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成19年18.74%				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	お礼や喜びの手紙等が寄せられている反面、祝いの品に対しての要望もあった。また、子どもからの半寿のお祝いカードについては、感謝の手紙が多数寄せられた。				
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成19年 97,606人 18.74% 平成22年 102,432人 19.35%				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しているなか、子どもとのふれあいの機会が図られる。また、敬老祝い品の贈呈を受けることで、自分が周囲から大切に思われているという意識が醸成される。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:今以上に私立の幼稚園・保育園にも積極的に協力を呼びかけ、地域での高齢者と子どもたちとの交流の機会の拡大を図る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:慶事の祝いに受益者負担はなじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [対象の縮小] (具体的内容 )	理由または具体的内容:半寿81歳までの期間が短い75歳の祝い品の贈呈を止め、90歳に変更し、対象者数を減少させる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題:私立幼稚園・保育園、区立保育園・児童館に81歳(半寿)該当者へのお祝いカード作成協力を依頼している。しかし、区立施設でもなかなか協力が得られないため、今後の働きかけが必要である。また、ゆうゆう館や保育園、高齢者施設などに、高齢者と子どもたちとの交流会の開催を呼びかけ実施している。今後区の担当課が、子どもと高齢者との仲介をし、参加園等を拡大していくことが求められている。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに、団塊の世代を含めた敬老事業のあり方について検討する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 敬老祝い品の贈呈は、定着している事業である。敬老祝い品を贈呈する以外の方法に改めるとすると、祝い品の贈呈が75歳・81歳と限定されているので、切り変わりの時期に該当する対象者が祝い品の贈呈を受けられないことになり、対象者の理解を得る必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 祝い品を贈呈して敬老の意を表明するという事業の形が定着しているため、早急に変更することは困難である。	



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会・半寿(81歳)式典						整理番号	313	枝番号			
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課	コード	091403	連絡先電話番号	2246	昨年度整理番号	314	昨年度枝番号					
係名	いきがい活動支援係	上位施策名						No					
予算事業名	いきがい活動支援	コード	22450	高齢者の社会参加と交流の拡大						30			
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 75歳以上の高齢者						(1) 老人福祉法第4条、第5条、第13条第1項 (2) (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 敬老会式典と併せて、半寿(81歳)の顕彰式典を開催する。						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 敬老会を開催し、長寿を祝い、敬老の意を表すことにより、高齢者自身が尊重されているという意識の醸成が図られるとともに、健康の増進の一助となる。					
	活動指標名(式)	(1) 来場者 (2) 追加公演分来場者						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 来場率(来場者÷対象者数)×100 (2)					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)	人	2,910	3,270	2,743	4,060	4,673	4,000	4,000	116.8			
	活動指標(2)					2,030	1,241						
	成果指標(1)	%	6.7	7.1	6.1	8.5	9.9	8.2	6.3	158.4			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	7,262	6,351	6,361	8,116	10,820	9,923	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円					6,258	4,710					
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.80	0.80	0.40	0.40	0.65	0.65	平成18年度は、来場者が定員を超えてしまったため、10月31日に追加公演を2回行った。 来場率を成果指標とすることは、対象者が増加することは自明であり、敬老会の実施期間や公会堂を会場とすることを変更しない限り減少するばかりである。そのため、19年度以降は指標の変更が必須である。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,280	7,248	3,624	3,624	5,889			5,889		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++	千円	14,542	13,599	9,985	11,740	16,709	15,812					
	単位あたりコスト( - )÷	円	4,997	4,159	3,640	2,892	3,576	3,953					
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円	3,631	3,154	3,148	4,041	5,379			4,940		
特定財源計 +		千円	3,631	3,154	3,148	4,041	5,379	4,940					
差引: 一般財源 -		千円	10,911	10,445	6,837	7,699	11,330	10,872					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)							
	演芸・司会業務委託料		2		日	4,158							
	演芸業務委託料		1		日	2,100							
	招待状郵送料等		47,406		通	2,031							
	招待状印刷、その他消耗品		1		式	609							
その他 (賃借料・謝礼・飲料費など)		1		式	1,922								

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 313 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	115.1	活動指標(2)の 18年度達成率%	61.1	18年度予算 執行率%	133.3
		追加公演を2回おこなったため、当初予算を超えて執行した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		杉並公会堂の開設に伴い、セシオン杉並から公会堂に会場を変更し、開催回数を4回(2日間)に縮小した。また、企画委員会を設置し、半寿お祝い会において、いきいきクラブの活動紹介を実施することとした。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	敬老会を開始した当時は戦後で娯楽の少ない時代であったが、現在は高齢者が日常的に趣味や娯楽を楽しめるようになった。高齢者(75歳以上)人口(区総人口に対する比率)昭和27年 2,993人(0.8%) 平成19年 47,650人(9.15%)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	日頃外出する機会が少ないので毎年敬老会を楽しみにしている。子どもたちが、敬老会のために一生懸命練習し、演技を披露してくれる姿に感動した。演芸を演歌以外のプログラムに変更してほしい。					
	今後の予測	敬老会の対象者(75歳以上)の増加					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由 )	理由:高齢者のための敬老イベントとして代表的な事業であり、区民の期待や関心が高く、高齢者のひきこもりの防止や交流の拡大に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 委託化。実施企画から民間事業者等専門家と事業内容を検討する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:敬老事業のため、受益者負担はなじまない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 敬老会の準備、当日の運営の全部を委託している自治体もあるため検討する余地あり。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 芸能部門を民間事業者に委託している。また、区内の保育園や幼稚園児に式典に出演してもらったり、いきいきクラブと共催で展示会を開くなど、一部協働は実現している。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成22年度までに、区内高齢者の意向を調査し、敬老事業全体の内容を検討する。併せて事業全面委託化の検討をする。なお、内容の企画は民間事業者、区内高齢者等と共同で検討する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 全面委託とする場合、招待状の発送業務や当日の参加者の受付業務は個人情報を取り扱う業務のため、その部分は区職員の業務として残る可能性がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 20年度に芸能部門以外の部分の委託化が実現できれば、同経費でも内容の活性化と事業費のコスト減が期待できる。

## 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター運営・維持管理						整理番号	314	枝番号				
担当部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	2245	昨年度整理番号	315	昨年度枝番号				
係名				施設担当係				上位施策名		No				
予算事業名				高齢者活動支援センター維持管理コード 38350				高齢者の社会参加と交流の拡大		30				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民及び高齢者活動団体						(1) 老人福祉法 第15条第5項、第20条の7 (2) 杉並区高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者の社会参加を支援するため、利用者が安全で快適な時間を過ごせるよう、施設の維持管理を行うとともに、施設内の講座室や杉の樹ホール等の貸出を行う。						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・多くの高齢者の施設利用によって、相互の交流を活発にし、高齢者の社会参加の機会を拡充する。 ・高齢者の自主的団体活動に対する支援によって、新たな生きがいづくりや仲間づくりを促進し、元気高齢者の増加に寄与する。					
	活動指標名(式)		(1) 年間利用者数		(2)				(1) センター利用率 年間利用者数 ÷ 60歳以上区民数 × 1回 × 12月 (2) * 月1回の利用を標準利用とした					
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
	活動指標(1)		人	76,115	77,455	82,815	84,500	82,770	84,425	88,983	93.0			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	7.44	7.49	8.00	8.07	7.90	8.04	8.06	98.0			
成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	46,802	61,402	45,833	58,446	41,879	54,487	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	22,560	27,402	21,677	27,340	18,925	27,290					
	職員数(常勤   非常勤)		人	2.71	2.20   1.20	0.80   1.00	0.65   1.00	0.75   1.00	0.65   1.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	24,661	19,932	7,248	5,889	6,795	5,889				
		非常勤職員分		千円	0	3,468	2,890	2,830	2,830	2,830				
	総事業費 ++		千円	71,463	84,802	55,971	67,165	51,504	63,206					
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	939	1,095	676	795	622	749					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	71,463	84,802	55,971	67,165	51,504	63,206						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		高齢者活動支援センター運営協議会						1	回	78				
		建物等総合管理委託						1	式	18,895				
		建物修繕等						131	回	1,189				
		その他 (光熱水費外 )								21,717				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

様式 1

整理番号	314	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	98.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	71.7
		複合施設関係各課との連絡調整体制を強化し、効率的かつ効果的な施設修繕等に取り組んでいる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		昨年度に引き続き、なお一層の施設関係各課との連絡調整体制の強化を図り、効率的かつ効果的な施設修繕等に取り組んでいく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	老人福祉センターとして開館してから24年が経過し、施設全般で老朽化が見られる。平成15年4月から高齢者団体の自主的な活動拠点となるよう、事業はNPO法人へ委託し、受付業務を含めた施設管理は、併設の地域区民センターとの総合管理として民間企業への委託を開始した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	施設の老朽化に伴う改修等の要望					
	今後の予測	杉並清掃工場焼却炉更新工事が近く予定されており、工事期間中は熱源供給が停止される。当面、それに対応するための改修工事が必須であるが、老朽化が進む複合施設全体としての大規模改修のあり方について、早急に検討を進めていく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )		理由:長寿社会の進展の中で、今まで以上に生きがいつくり、仲間づくりの場として大きな期待が寄せられる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )		理由または具体的内容:施設の老朽化に伴う修繕経費等の増加				
	成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )		理由または具体的内容:指定管理者を視野に入れた新たな協働による施設運営への移行				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容:杉並清掃工場建設時の和訳事項等の経緯や、老朽化が進行している施設の現状から、新たに受益者負担を求めることは困難である。施設大規模改修後、もしくは指定管理者を含めた新たな施設運営への転換時に再度検討する。				
協働等点検	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )		理由または具体的内容:コストは、施設維持管理に関する経費であり、施設の老朽化が進行している状況から、経費削減は困難である。				
	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( へ )		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( へ )		協働等による成果と課題 :大規模改修後において、指定管理者を含めた併設施設との一体的な施設運営について検討が必要である。				
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・大規模施設改修を前提に、指定管理者を視野に入れた新たな施設運営のあり方や、これからの長寿社会に対応した施設整備のあり方等について検討を行う。 ・浴室の今後のあり方について、さらに検討を進める	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・複合施設であることから、設置目的が異なる施設の総合的な管理運営が条件となる。 ・施設建設時の和訳事項の取り決め等により、施設用途及び運営方法などに制限がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ・杉並清掃工場焼却炉更新工事に伴う熱源供給停止に対応するため、長期間の熱源供給に対応できるボイラー等の設置が必要である。 ・老朽化に伴う施設全体の大規模改修工事について、設計等が必要である。		



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者ゲートボール場				整理番号	315		枝番号			
担当部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401	連絡先 電話番号	2245		昨年度 整理番号	316	昨年度 枝番号	
係名 施設担当係					上位施策名				No			
予算事業名 高齢者活動支援センター運営					コード	29550		高齢者の社会参加と交流の拡大			30	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策 番号	施策 番号	事業 コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民で構成される10名以上の団体				根拠法令等 (1) 杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱 (2) (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者ゲートボール場の適切な管理及び高齢者ゲートボール場使用団体の登録、使用抽選等を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) スポーツ活動(ゲートボール)を通して、高齢者の社会参加の機会が拡充されることにより、元気高齢者が増加する。					
	活動指標名(式)		(1) 登録団体数				(1) 週1回以上活動できた団体数 ÷ 登録団体数 × 100					
		(2)				(2)						

  

区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%		
			計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	人	24	24	20	20	17	17	20	85.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	100.00	100.00	83.33	100.00	85.00	100.00	100.00	85.0	
	成果指標(2)										
総事業費・ コスト把握	事業費	千円	267	287	260	305	273	274	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	262	260	260	273	273	274			
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.21	0.20	0.10	0.35	0.20	0.40	0.20	0.40	0.20
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,911	1,812	3,171	3,624	3,624	3,624		
		非常勤職員分	千円	0	289	578	566	566	566		
	総事業費 + +	千円	2,178	2,388	4,009	4,495	4,463	4,464			
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	90,750	99,500	200,450	224,750	262,529	262,588			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	2,178	2,388	4,009	4,495	4,463	4,464			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

  

18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	高齢者ゲートボール場清掃等委託		1	所	273
	その他 ( )				0

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 315 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	85.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	89.5
		最低限の委託内容にとどめており、これ以上の削減は困難である。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	全国的にゲートボール人口は減少傾向にある。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	希望の日時が取れない等の意見がある。				
	今後の予測	登録団体数の推移や活動状況等の動向を見ながら、活動種目や利用方法の見直しを行うとともに、今後の施設整備等を進めていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 高齢者の地域社会参加の場として、引きこもり防止や健康増進に役立っている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 )	理由または具体的内容: 登録団体数は減少傾向にあるが、仮設ゲートボール場(1面)閉鎖の影響により、総体的にコート数が足りない。				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 一人暮らし高齢者対策や引きこもり防止のため、最近高齢者に人気のあるベタンクやバードゴルフといった軽スポーツにも対応できるゲートボール場として、新たな施設整備を考えていく必要がある。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 高齢者の健康増進のための事業であり、他の高齢者を対象とした施設とのバランスから、無料とすることが妥当と思われる。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 現在の経費は、ゲートボール場の清掃・消耗品・水道料等の必要最小限の経費であり、これ以上の削減はできない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 現在の登録団体の連合組織化を条件に、完全自主管理とすることが望ましい。				
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設改修等を条件に、現在の登録団体等の連合組織化による完全自主管理体制を導入する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 連合体となる組織力に欠ける。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 現行どおりの運営とし、登録団体の活動状況等を調査する。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター事業・ゆうゆう館事業				整理番号	316	枝番号				
担当部課名		高齢者施策課		コード	091403	連絡先 電話番号	2247	昨年度 整理番号	317	昨年度 枝番号		
係名					いきがい活動支援係			上位施策名		No		
予算事業名					高齢者活動支援センター運営			コード	29550	高齢者の社会参加と交流の拡大		30
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民		(1) 老人保健法第4条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター条例 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			高齢者向けの各種学習講座の企画・運営を、地域で活動するNPO法人に委託し、学習を通じて高齢者のいきがい活動を支援する。9月の敬老月間を中心にゆうゆう館利用者の日頃の活動の発表の場の提供、高齢者の仲間づくりやいきがいを支援する事業を実施する。								
	活動指標名(式)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が地域での学習活動、グループ活動を通して、いきがいづくり、仲間づくり、それぞれの経験や知識を活かした社会参加活動ができるよう支援する。								
			(1) 高齢者活動支援センター事業参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)平成18年度杉の樹大学入学率: 入学者数55人 ÷ 応募者数111人 (2) 敬老イベント参加率: 4月1日現在60歳以上高齢者数 ÷ イベント参加者数 高齢者数(18年度123,347人・19年度126,047人)							
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	1,449	1,800	2,635	2,970	4,391	4,500	3,400	129.1	
	活動指標(2)		人	1,017	1,200	1,939	3,000	2,350	/	9,600	24.5	
	成果指標(1)		%	28.0	40.0	22.0	40.0	49.5	53.9	100.00	49.5	
	成果指標(2)		%	3.74	4.29	1.58	2.43	1.90	/	7.54	25.2	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,932	3,829	3,782	3,849	3,688	3,845	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円		3,761	3,717	3,781	3,623	3,777			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.37	0.40	0.35	0.25	0.25	0.25	活動指標(1)を平成17年度「杉の樹大学延受講者数」から、平成18年度以降「高齢者活動支援センター事業参加者数」に変更する。 成果指標(1)の算出方式を、平成17年度の「社会活動参加団体(杉の樹大学OB連合会)参加率」から、平成18年度以降は「杉の樹大学入学率」へ変更する。 平成19年度より予算事業名「敬老会館運営(29750)」「いきがい活動支援係分」は、「敬老事業(30150)」へ移行。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,367	3,624	3,171	2,265	2,265			2,265
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	7,299	7,453	6,953	6,114	5,953	6,110			
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	5,037	4,141	2,639	2,059	1,356	1,358			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	7,299	7,453	6,953	6,114	5,953	6,110				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			杉の樹大学・公開講座・健康づくり教室・ITサロン・コンサート等				65	講座	3,622			
			発表会・展示会・ゲーム大会等(休館中1館除く)				31	館	66			
			その他 ( )						0			

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 316 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	147.8	活動指標(2)の 18年度達成率%	78.3	18年度予算 執行率%	95.8
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成15～18年度杉の樹大学卒業生に「社会参加活動についてのアンケート」調査を実施し、社会参加・地域貢献活動に対する意識や今後の意向を把握した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	60歳以上の区内高齢者人口の推移(60歳以上の総人口に占める割合) 昭和58年 71,182人 (13.69%) 平成19年 126,047人 (24.19%)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	杉の樹大学など高齢者の学習機会の拡充、社会参加活動の場や情報の提供・充実など					
	今後の予測	団塊の世代が定年を迎える平成20年以降、地域社会の人口構成が急激に変化する。高齢者のいきがい活動支援、学習機会や場の提供・拡充を実現するために、高齢者の社会参加・地域貢献活動がますます求められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 学習活動や趣味の活動を通して、仲間づくりが進み、それぞれの能力を生かした自主グループが地域の中で誕生するなど、高齢者の社会参加に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 杉の樹大学卒業生を、ゆうゆう館等の地域での事業に積極的に呼び込むことで、事業の活性化、参加者の拡大が図れる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 杉の樹大学学生からの授業料の徴収を検討する。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 学費の徴収、事業委託先の公募などにより、杉の樹大学の充実・発展や経費の削減を図る。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 地域で活動する、高齢者が主体のNPO法人に事業を委託することで、高齢者の意向・要望を取り入れた、杉の樹大学や公開講座などの企画運営がなされている。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成20年度以降、事業委託先の公募や杉の樹大学の学費の徴収などにより、高齢者活動支援センター各種講座等の内容の充実・発展や経費の削減を検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 平成15年度の委託開始から現在まで、同じ団体に事業委託しているため、企画運営方法が定着している。委託団体の公募や杉の樹大学卒業生の企画への参加などにより、団塊の世代が受講を希望し、社会参加のための実践的な内容を取り入れた高齢者活動支援センター各種講座等を企画する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 予算規模は現状維持とし、事業委託先のNPO法人に、今後受講料のとれる自主事業を企画するよう指導する。また、杉の樹大学卒業生が、ゆうゆう館等地域の事業に積極的に参加することで、事業の活性化、参加者の拡大を図り、高齢者のいきがい活動支援や社会参加活動支援を行う。	



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ゆうゆう館施設維持管理及び運営委託						整理番号	317	枝番号		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	2244	昨年度整理番号	318	昨年度枝番号		
係名		施設担当係		上位施策名						No		
予算事業名		ゆうゆう館運営 / ゆうゆう館維持管		コード	29750 38450	高齢者の社会参加と交流の拡大				30		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		38 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者 NPO法人等の協働事業実施団体		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条 (3)							
	活動指標名(式)		(1) 年間延利用者数 (2) 利用団体数(高齢者活動登録団体)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点としてゆうゆう館が、高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用される。							
	成果指標名(式)		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) $60歳以上区民のゆうゆう館利用率 = 年間延利用者数 \div (60歳以上の区民人口 \times 2回 \times 12月) \times 100$ * 月2回を標準利用回数とする (2) $ゆうゆう館団体用語至平均稼働率 = 実際の利用数 \div 利用可能回数$							
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	278,949	284,500	271,719	285,300	284,545	296,000	312,000	91.2	
	活動指標(2)		団体	560	571	574	600	642	668	700	91.7	
	成果指標(1)		%	5	5	5	5	5	5	5	96.0	
	成果指標(2)		%	39	40	40	40	34	40	42	81.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	101,570	140,132	133,512	179,237	169,881	215,647	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	44,796	80,539	20,052	114,677	101,219	140,586			
	職員数(常勤   非常勤)		人	17.56   40.00	13.40   32.00	13.45   32.80	11.60   23.00	10.90   23.80	9.80   17.80	18年度 = 16館 19年度 = 19館		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	159,796	121,404	121,857	105,096	98,754	88,788			
		非常勤職員分	千円	115,200	92,480	94,792	65,090	67,354	50,374			
	総事業費 + +		千円	376,566	354,016	350,161	349,423	335,989	354,809			
	単位あたりコスト( - )÷		円	1,350	1,244	1,289	1,225	1,181	1,199			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	376,566	354,016	350,161	349,423	335,989	354,809				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		受付等業務委託						16	館	99,485		
		施設改修(介護予防拠点整備を除く)						1	館	5,025		
		施設修繕						452	回	6,094		
		協働事業実施団体選定委員会等の進行管理						4	回	310		
		その他 (その他保守委託、施設維持管理経費外)								58,967		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 317 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	99.7	活動指標(2)の 18年度達成率%	107.0	18年度予算 執行率%	94.8
	受付等管理委託料が当初予算よりも安価で落札されたことや、施設維持管理経費の削減に職員(委託業務従事者を含む)が積極的に取り組んだ結果、執行残となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	第3次行財政改革実施プランに基づく取り組みにより、受付等業務委託館は、18年度16館(内協働事業実施団体への委託 8館)から19年度19館(内協働事業実施団体への委託 14館)となった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・事業開始当初は、高齢者の「憩いの場」として設置。17年9月に策定した「新たな敬老会館のあり方方針」により、従来の役割・機能に、「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」の役割・機能を加える。 ・利用対象の区民は大幅に増加しているが、ここ数年の年間利用者数はほぼ横這いである。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・生活様式の変化や価値観の多様化などにより、施設構造・施設設備自体が今の時代にそぐわないなどの意見が多い。 ・NPO法人等とのゆうゆう館協働事業の進展に伴い、実施対象館で既存の高齢者団体との利用競合が発生している。				
	今後の予測	社会環境の変化に対応した新たな高齢者層にも利用しやすい施設として施設改修を進めるとともに、生涯現役社会の地域拠点として、引き続きNPO法人等との協働事業を推進していく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:長寿社会の進展の中で、生涯現役社会の地域拠点として、また、一部の虚弱高齢者を対象とした介護予防の地域拠点として、ゆうゆう館の役割・機能が大きく注目されている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:和室の洋室化や、利用率の低い施設設備の小集会スペース化など、生活様式の変化や価値観の多様化等に対応した施設改修が必要である。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:生涯現役社会の地域拠点として、一人暮らし高齢者や引きこもり高齢者なども視野に入れた施設運営が望まれていることから、利用者に負担を求めることは難しい(三療サービスについては、受益者負担で事業実施)。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:ゆうゆう館協働事業の進展に伴う、受付等業務の委託化拡充。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 ゆうゆう館協働事業の実施より、18年度は17年度と比較して13,000人弱の利用者増があった。今後、団塊の世代を含めた新たな高齢者層の利用を主とした、さらなる協働事業の拡充を図っていく。				
	(3) 協働等の形態 協働[委託] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 引き続き、ゆうゆう館協働実施団体への委託化と夜間通年開館対応の拡大を図るとともに、団体和室の洋室化や、利用率の低い施設設備の小集会スペース化など、生活様式の変化や価値観の多様化等に対応した施設改修を段階的に実施する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ゆうゆう館協働事業や介護予防事業の拡充に伴い、既存の高齢者団体との利用競合が発生し、多数の意見要望が寄せられている。また、和室の洋室化などの改修工事により、複数の館が一時的に休館になる状況がそれに拍車をかけている。 今後、現行のゆうゆう館の利用枠(利用時間)の見直しを進めるとともに、ゆうゆう館協働事業や介護予防事業の実施方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ・ゆうゆう館協働実施団体の選定結果に基づく受付等業務委託館の増加及び夜間通年開館の増加。 ・新たな敬老会館のあり方方針に基づく男女別トイレ化改修等の実施。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		三療サービス			整理番号	318	枝番号				
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課	コード	091403	連絡先 電話番号	2247	昨年度 整理番号	320	昨年度 枝番号			
係名	いきがい活動支援係	上位施策名			No						
予算事業名	健康事業	コード	29950	高齢者の社会参加と交流の拡大			30				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	48 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民 杉並区高齢者三療サービス連絡協議会		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例 (2) 杉並区三療サービス事業実施要綱 (3) 杉並区立高齢者活動支援センター三療サービス事業実施要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	ゆうゆう館(30館)及び高齢者活動支援センターにおいて、マッサージ・はりの三療サービスを「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自宅に近いゆうゆう館でマッサージを受けることで身体機能の維持・介護予防の促進を図る。 また、診療所を持たない視覚障害者の自立支援を推進することができる。							
	活動指標名(式)	(1) 三療サービスゆうゆう館利用者数 (2) 三療サービス高齢者活動支援センター利用者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 利用率 = 利用者数 / 60歳以上の区民 × 100 (2)							
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度 計画	17年度 実績	18年度 計画	18年度 実績	19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	人	4,165	4,705	4,787	4,800	4,751	4,800	5,328	89.2	
	活動指標(2)	人	2,720	2,754	2,744	2,800	2,848	2,900			
	成果指標(1)	%	5.7	6.1	6.1	6.1	6.1	6.2			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	11,842	12,983	12,646	12,975	12,630	12,970	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	10,313	11,091	11,088	11,093	11,087	11,093			
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.50	0.50	0.50	0.40	0.30	0.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,550	4,530	4,530	3,624	2,718	2,718		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	16,392	17,513	17,176	16,599	15,348	15,688			
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	3,484	3,658	3,588	3,458	3,230	3,268			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	0	5,937	5,763	5,930	5,755	5,930		
特定財源計 +		千円	0	5,937	5,763	5,930	5,755	5,930			
差引: 一般財源 -		千円	16,392	11,576	11,413	10,669	9,593	9,758			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)					
	ゆうゆう館事業委託			456	回	9,968					
	高齢者活動支援センター事業委託			306	日	1,119					
	役務費 寝具等乾燥			1	式	1,375					
	需用費					168					
その他 ( )					0						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 318 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	99.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	101.7	18年度予算 執行率%	97.3
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		利用率・サービス向上のため、杉並区高齢者三療サービス連絡協議会が施術者の技術の向上を図る講習会を実施。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	東京都の高齢者人口(65歳以上)の構成比 平成10年 14.48% 平成15年 17.14% 平成18年 18.37% 杉並区の高齢者人口(65歳以上)の構成比 平成10年 15.71% 平成15年 17.52% 平成18年 18.26%					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	利用機会の均衡化と施術者の技量の差の是正。					
	今後の予測	高齢者の増加に伴い需要が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいかな 貢献度 中(理由 )	理由: 高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進に一定の役割を果たしている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるかな ある程度できる( )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 施術者の技術・サービスの向上を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:現在も700円を徴収して利用者に施術を行っているが、金額を上げることで利用者の減少につながるおそれがある。なお、その料金については施術者の収入となっている。					
(4) コストを下げる余地はあるかな ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容: ゆうゆう館での施術実績による委託料の変更。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているかな 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 受益者負担の見直しをした場合、利用者が減少することが予想されるので、当分は現状のまま事業を委託する。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、対象者は60歳以上の区民となっているが、利用者が固定化している。 平成17年度から実施した対象者を要介護認定で非該当となった方など比較的虚弱な高齢者に絞り、優先的に施術を受けられる内容の積極的なPRを行うとともに、利用率の上がない館については利用率の高い館への回数を増やことで廃止するなど三療サービス連絡協議会と検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者への周知徹底や、介護予防の観点に基づいた施術者の技能向上が必要と考えられる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 実施方法等の変更はあると考えられるが、実施回数などの事業規模については大幅な変更を計画していないため、予算については現状維持と見込まれる。	